



平成 22 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 協和医科ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 池 谷 保 彦
 (J A S D A Q コード番号 : 3 1 5 4)
 問合せ先 取締役管理本部担当 柴 田 英 治
 (T E L : 0 5 4 - 3 4 5 - 8 7 9 9)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 8 月 13 日付にて発表いたしました、平成 22 年 6 月期(平成 21 年 7 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成 22 年 6 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想の修正(平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	28,729	244	297	170	192.45
今回修正予想 (B)	29,125	388	450	262	296.80
増減額(B-A)	396	144	153	92	—
増減率	1.3%	59.0%	51.5%	54.1%	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 6 月期第 2 四半期)	28,423	270	333	177	20.97

※当社は平成 21 年 7 月 1 日に協和医科器械株式会社より単独株式移転の方法によって、株式移転設立完全親会社として設立され、当連結会計年度が第 1 期となるため、前期実績(平成 21 年 6 月期第 2 四半期)の連結業績は協和医科器械株式会社の数値を記載しております。

2. 業績予想修正の理由

医療機器販売におきましては、景気後退の影響により大型備品販売が低調でありましたが、徐々に回復傾向となり、当第 2 四半期連結累計期間におきましては、増改築に伴う大型備品販売案件が情報収集の強化と営業努力により当初の予想以上に獲得出来たために、売上増加となり堅調に推移いたしました。また、消耗品におきましても、医療機関での症例数の増加に伴い引き続き好調な販売となり、売上高につきましては目標を達成いたしました。

利益面におきましては、コスト抑制に努めた結果、販売費及び一般管理費が 40 百万円減少いたしました。また、グループウェアシステムの構築費用及び保守契約料等を第 3 四半期以降に繰り

延べたことにより、減価償却費等費用が 30 百万円減少したことが主な要因となっております。その結果、当初計画を営業利益 388 百万円（59.0%増）、経常利益 450 百万円（51.5%増）、四半期純利益 262 百万円（54.1%増）上回る見込みとなりました。

なお、通期の連結業績見込みにつきましては、平成 22 年 4 月に予定されている医療材料の償還価格の改定及び流動的な医療機関の予算執行の状況に大きく依存していることから、現時点では変更ありません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上